令和８年度

全国学力・学習状況調査の結果分析について

～東京都の児童・生徒の学習状況～

令和８年10月

東京都教育委員会

令和８年度全国学力・学習状況調査

令和８年10月
東京都教育庁指導部

調査の概要

１　**調査実施日**　令和８年４月20日(月)～５月29日(金)
２　**調査対象**　小学校等・特別支援学校小学部　第６学年
　　中学校等・特別支援学校中学部　第３学年
３　**調査学校数及び児童・生徒数**　学校数　1,274校　児童数　95,174人
　　学校数　632校　生徒数　69,279人

４　**調査内容**
(1) 教科に関する調査　小学校　【国語・算数】
　　中学校　【国語・数学・英語（CBT）】
(2) 質問調査（CBT）　【児童生徒に対する調査・学校に対する調査】

教科に関する調査の結果

◆ 東京都の平均正答率（英語は平均IRTスコア）は、**小学校・中学校の全ての教科で全国平均を上回った。**
◆ **全国と比べて**正答数の多い層にあたる**Ａ・Ｂ層（英語は５・４バンド）の割合が高く**、正答数の少ない層にあたる**Ｃ・Ｄ層（英語は２・１バンド）の割合が低い**傾向が見られた。

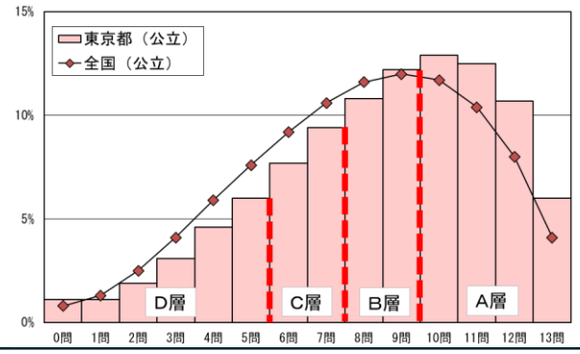
＜東京都及び全国の平均正答率等（公立学校の結果）＞　※国語、算数・数学は平均正答率（%）※英語は平均IRTスコア

【小学校】	国　語	算　数
東京都（全国）	65（60.9）	63（56.4）

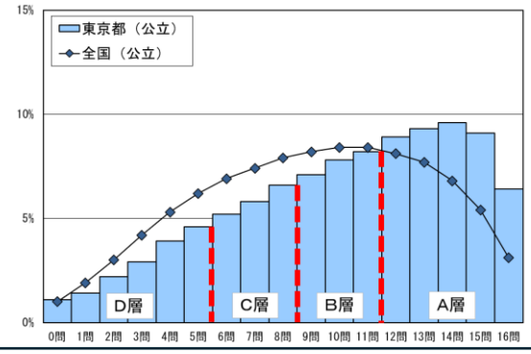
【中学校】	国　語	数　学	英　語
東京都（全国）	68（63.9）	62（57.0）	529（499）

＜正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：人数の割合）＞

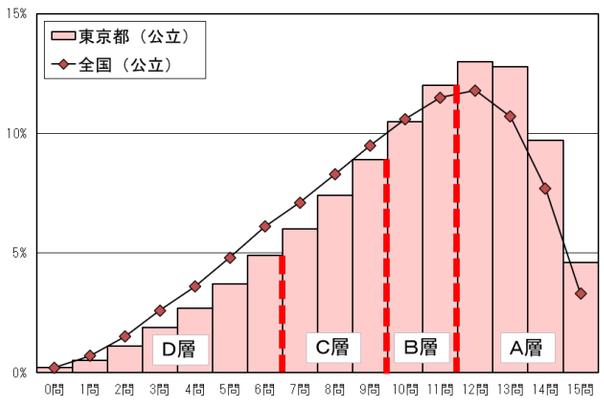
小学校　国語



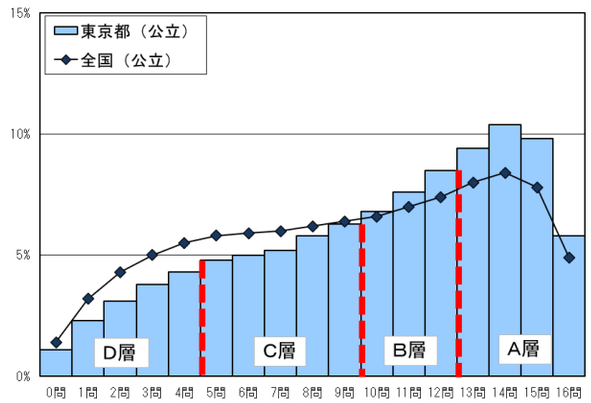
小学校　算数



中学校　国語

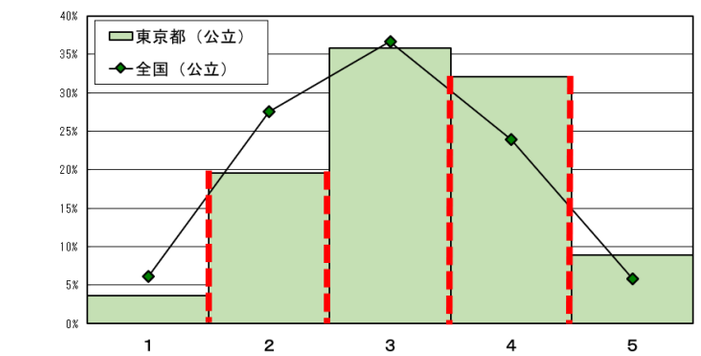


中学校　数学



中学校　英語

IRTバンド分布グラフ（横軸：IRTバンド　縦軸：人数の割合）



※IRTバンドは、生徒一人一人のIRTスコアを、１から５までの５段階に区切って示したもの

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和８年10月
東京都教育庁指導部

小学校　国語

（%）

		１一	１二（１）	１二（２）	１二（３）	２一	２二	２三ア	２三イ	２四	３一	３二	３三（１）	３三（２）
正答率	東京都	77.6	64.9	67.5	68.1	63.7	51.3	80.8	52.3	37.2	80.5	62.0	62.2	75.4
	（全国）	(73.9)	(60.2)	(63.2)	(65.2)	(57.9)	(48.9)	(80.0)	(45.2)	(33.5)	(76.7)	(55.6)	(55.5)	(76.4)

【授業改善の視点から着目した問題】 平均正答率が70%未満で、全国との差も小さい問題を東京都の特徴ある問題として着目した。

小学校　国語　１二（３）

◆　問題の概要

〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する。

◆　結果について

※（　）内の数値は全国平均値

正答率：**68.1%**（65.2%）　無解答率：**1.2%**（0.8%）

◆　出題の趣旨から見える課題

比喩や反復などの表現の工夫に気付くことに課題がある。

◆　指導にあたって

これまでの学習を想起し、比喩や反復、倒置など様々な表現の工夫への気付きをまとめて整理する機会を設定することが大切である。

小学校　国語　２二

◆　問題の概要

【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く文として適切なものを選択する。

◆　結果について

※（　）内の数値は全国平均値

正答率：**51.3%**（48.9%）　無解答率：**1.5%**（1.1%）

◆　出題の趣旨から見える課題

考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することに課題がある。

◆　指導にあたって

話や文章を理解したり、表現したりする上で、考えがどのような理由や事例によって支えられているのかを吟味する活動を位置付けることが大切である。

【正答率及び無解答率の概況】

〈正　答　率〉13問中12問は全国よりも高い。

〈無解答率〉全問題で全国よりも高く、選択式に比べ短答式及び記述式の問題は特に高い傾向がある。

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和８年１０月
東京都教育庁指導部

小学校　算数

（%）

		１（１）	１（２）	１（３）	１（４）	２（１）	２（２）	２（３）	２（４）	３（１）	３（２）	３（３）	３（４）	４（１）	４（２）	４（３）	４（４）
正答率	東京都	76.9	70.8	52.3	53.5	71.8	62.0	41.6	46.0	95.5	67.0	51.4	76.1	57.9	82.9	26.5	77.5
	（全国）	(72.7)	(63.0)	(40.1)	(45.2)	(66.5)	(53.1)	(36.1)	(34.2)	(94.5)	(58.1)	(44.0)	(68.1)	(56.2)	(78.1)	(17.9)	(74.9)

【授業改善の視点から着目した問題】 平均正答率が70%未満で、全国との差も小さい問題を東京都の特徴ある問題として着目した。

小学校　算数　２（３）

◆　問題の概要

ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ。

※（　）内の数値は全国平均値

◆　結果について

正答率：**41.6%**（36.1%）　無解答率：**2.1%**（1.6%）

◆　出題の趣旨から見える課題

単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味の理解に課題がある。

◆　指導にあたって

日常の生活の様々な問題場面において、二つの数量の関係に着目し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察する活動を充実させることが大切である。

小学校　算数　４（１）

◆　問題の概要

全員分のアンケートが整理されていない学級を見付け、その根拠となる人数を表１と表２の中から書く。

※（　）内の数値は全国平均値

◆　結果について

正答率：**57.9%**（56.2%）　無解答率：**4.4%**（3.7%）

◆　出題の趣旨から見える課題

示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述することに課題がある。

◆　指導にあたって

集計にあたって誤りがないか確かめ、誤りの有無の根拠を表やグラフなどを基に説明できるようにする活動や、二つの表の合計の数値を比較し、誤りがないか確かめる活動などを意図的に位置付けることが大切である。

【正答率及び無解答率の概況】

〈正　答　率〉全問題で全国よりも高い。

〈無解答率〉全問題で全国よりも高い又は同値。「知識・技能」の一部の短答式問題で無解答率が高い傾向がある。

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和８年10月
東京都教育庁指導部

中学校　国語

（%）

		１ー	１二	１三	２ー	２二	２三	２四	３ー	３二	３三	３四	４ー	４二	４三	４四
正答率	東京都	87.3	73.4	87.9	73.4	74.4	74.6	56.6	43.0	93.3	69.3	48.8	74.7	39.2	73.3	44.8
	（全国）	(84.3)	(70.2)	(85.4)	(68.5)	(70.4)	(70.4)	(52.7)	(39.8)	(92.3)	(65.0)	(45.0)	(71.6)	(35.2)	(68.7)	(38.9)

【授業改善の視点から着目した問題】 平均正答率が70%未満で、全国との差も小さい問題を東京都の特徴ある問題として着目した。

中学校　国語　３ー

◆　問題の概要

文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する。

※（　）内の数値は全国平均値

◆　結果について

正答率：**43.0%**（39.8%）　無解答率：**0.3%**（0.3%）

◆　出題の趣旨から見える課題

文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がある。

◆　指導にあたって

各学年の語彙の指導事項の内容と関連付け、音訓を意識し、同音異義語などの意味の違いに注意しながら、文章の中で適切な漢字を選んで用いる活動を充実させることが大切である。

中学校　国語　３四

◆　問題の概要

書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く。

※（　）内の数値は全国平均値

◆　結果について

正答率：**48.8%**（45.0%）　無解答率：**8.6%**（10.7%）

◆　出題の趣旨から見える課題

表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことに課題がある。

◆　指導にあたって

読み手からの感想や助言を基に、書き終えた文章の表現の工夫やその効果を振り返り、よい点や改善点を見いだして、次の書く活動に生かす機会を設定することが大切である。

【正答率及び無解答率の概況】

〈正　答　率〉全問題で全国よりも高い。

〈無解答率〉15問中５問は全国より低く、残り10問は全国と同値となった。

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和８年10月
東京都教育庁指導部

中学校　数学

（%）

		１	２	３	４	５	６（１）	６（２）	６（３）	７（１）	７（２）	８（１）	８（２）	８（３）	９（１）	９（２）	９（３）
正答率	東京都	89.2	73.1	56.9	58.7	69.0	75.5	67.2	50.2	78.6	40.3	71.0	57.2	42.6	47.0	79.4	35.5
	（全国）	(85.7)	(70.5)	(49.1)	(55.3)	(60.2)	(73.2)	(65.0)	(44.6)	(75.2)	(33.9)	(62.5)	(46.1)	(37.1)	(46.0)	(75.8)	(31.9)

【授業改善の視点から着目した問題】 平均正答率が70%未満で、全国との差も小さい問題を東京都の特徴ある問題として着目した。

中学校　数学　６（２）

◆　問題の概要

陸斗さんの予想がいつでも成り立つことを説明するための方針を完成するために、当てはまるものを選ぶ。

◆　結果について

※（　）内の数値は全国平均値

正答率：67.2%（65.0%）　無解答率：0.7%（0.6%）

◆　出題の趣旨から見える課題

事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることに課題がある。

◆　指導にあたって

文字を用いて説明する際には、何を文字で表すか、また最終的にどのような式で表すかを明確にするとともに、成り立つと予想される事柄の前提と結論を整理し、その事柄の特徴を数学的に説明する活動を設定することが大切である。

中学校　数学　９（１）

◆　問題の概要

全校生徒の睡眠時間の度数分布表において、最小の階級から６時間以上７時間未満の階級までの累積度数を求める。

◆　結果について

※（　）内の数値は全国平均値

正答率：47.0%（46.0%）　無解答率：12.8%（14.3%）

◆　出題の趣旨から見える課題

累積度数の意味の理解に課題がある。

◆　指導にあたって

累積度数を用いて考察するなどの活動を通して、データの傾向や特徴などを捉えられるように指導することが大切である。

【正答率及び無解答率の概況】

〈正　答　率〉全問題で全国よりも高い。

〈無解答率〉16問中13問で全国より低い。残り３問でも全国との差は＋0.1ポイントにとどまった。

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和８年10月
東京都教育庁指導部

中学校　英語（４技能）

（%）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10（1）	10（2）	11①	11②	12	13	14	15（1）	15（2）a	15（2）b	16	17	18	19
正答率	東京都	66.9	80.7	81.9	49.6	63.9	72.2	77.6	69.4	53.2	56.0	35.6	68.6	62.1	56.7	54.0	37.9	47.0	39.6	41.2	59.0	53.4	29.8	31.1
	（全国）	(60.2)	(78.5)	(76.0)	(43.8)	(55.6)	(67.3)	(72.4)	(63.8)	(49.0)	(47.5)	(27.8)	(58.9)	(52.7)	(47.5)	(44.0)	(27.8)	(41.5)	(32.5)	(30.7)	(52.8)	(45.7)	(21.7)	(23.0)

【授業改善の視点から着目した問題】 平均正答率が70%未満で、全国との差も小さい問題を東京都の特徴ある問題として着目した。

中学校　英語　８

◆　問題の概要

友達からのメッセージを読み、相手が示した条件に合うウェブサイトを選択する。

◆　結果について

※（　）内の数値は全国平均値

正答率：**69.4%**（63.8%）　無解答率：**0.1%**（0.1%）

◆　出題の趣旨から見える課題

日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることに課題がある。

◆　指導にあたって

自分の置かれた状況と読む目的、読み取るべき情報の条件から判断して、必要な情報とそうでない情報を整理しながら、文章などを読むことができるよう指導することが大切である。

中学校　英語　９

◆　問題の概要

物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する。

◆　結果について

※（　）内の数値は全国平均値

正答率：**53.2%**（49.0%）　無解答率：**0.1%**（0.1%）

◆　出題の趣旨から見える課題

日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることに課題がある。

◆　指導にあたって

物語を読んで、その概要を捉えることができたかどうかを確認するために、物語の概要としてまとめた複数の文章を読み、概要として最も適切なものを選んだり、物語の概要を話したり書いたりする活動を充実させることが大切である。

【正答率及び無解答率の概況】

〈正　答　率〉全問題で全国よりも高い。

〈無解答率〉23問中14問で全国より低く、２問で全国より高い。残り７問は全国と同値となった。

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

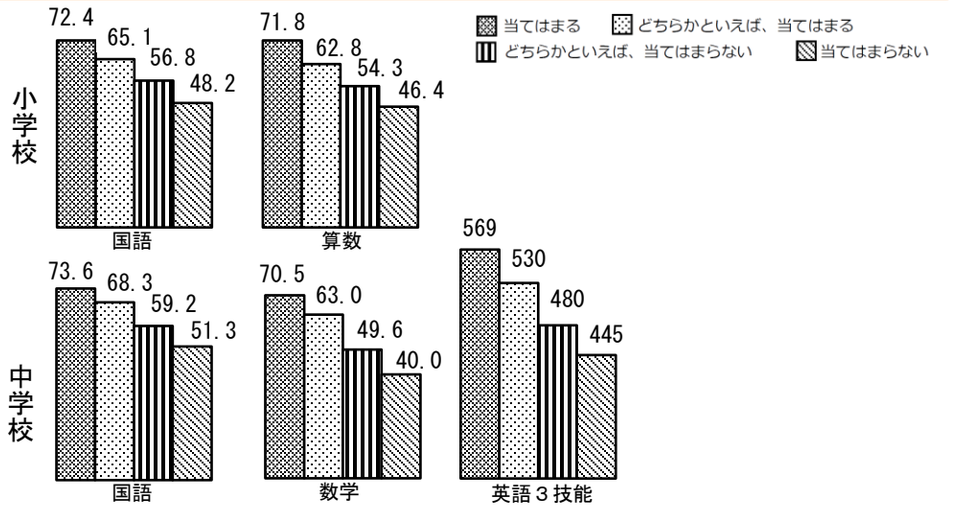
令和８年10月
東京都教育庁指導部

児童・生徒質問調査から見える学習の状況

※質問調査の回答と教科調査の結果との関係を示したものであり、
直接的な因果関係を示すものではありません。

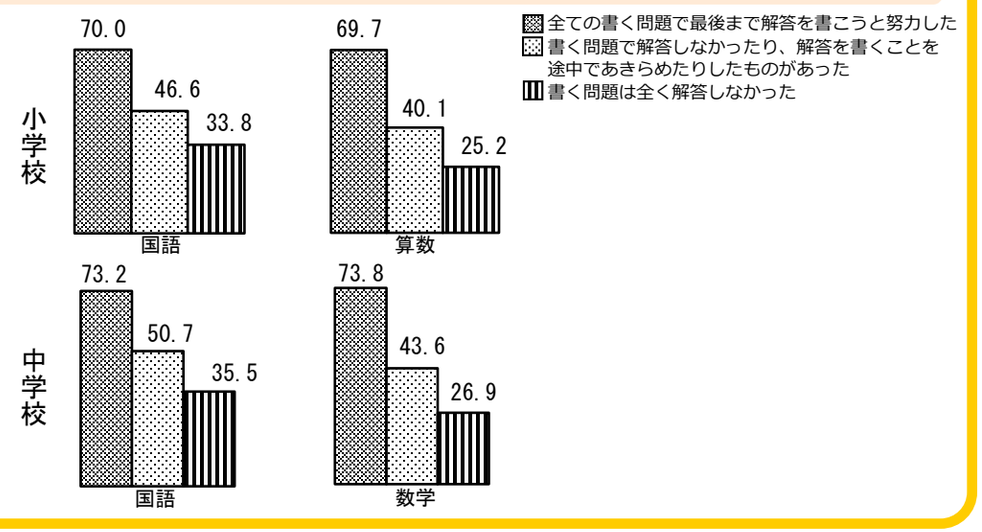
課題の解決に向けて自分から取り組んだ

「課題解決に向けて自分から取り組んだ」と回答した児童・生徒ほど、**各教科の正答率・スコアが高い**傾向が見られた。



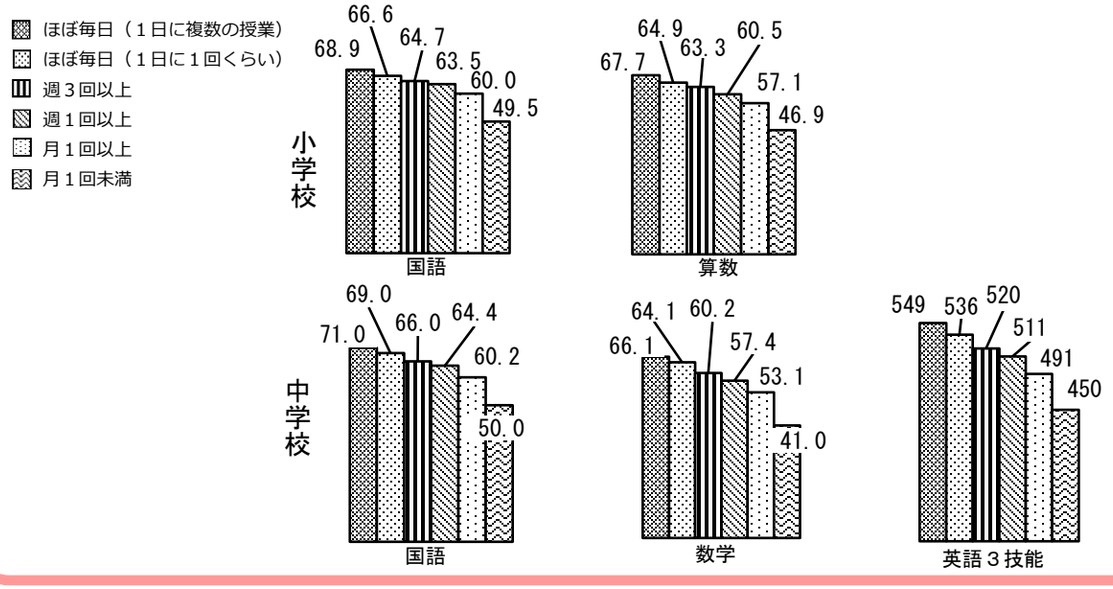
あきらめずに最後まで取り組んだ

「あきらめずに最後まで取り組んだ」と回答した児童・生徒ほど、**各教科の正答率・スコアが高い**傾向が見られた。



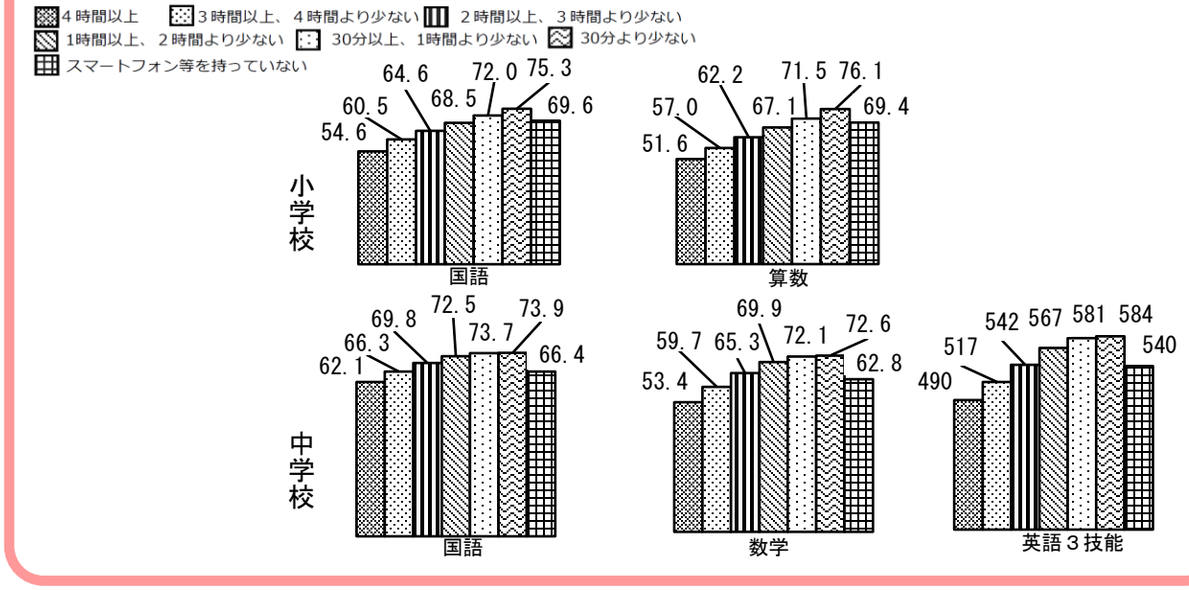
授業で、PC・タブレット等のICT機器を使用した

「授業で、ICT機器をよく使用する」と回答した児童・生徒ほど、**各教科の正答率・スコアが高い**傾向が見られた。



平日、１日当たりのスマートフォン等でのSNSや動画視聴時間

「平日、授業以外でのSNSや動画視聴の**利用時間が長い**」と回答した児童・生徒ほど、**各教科の正答率・スコアが低い**傾向が見られた。



各学校においては、自校の実態を踏まえ、**児童・生徒の学び方や学習環境**について振り返り、授業改善に生かしていくことが重要である。

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

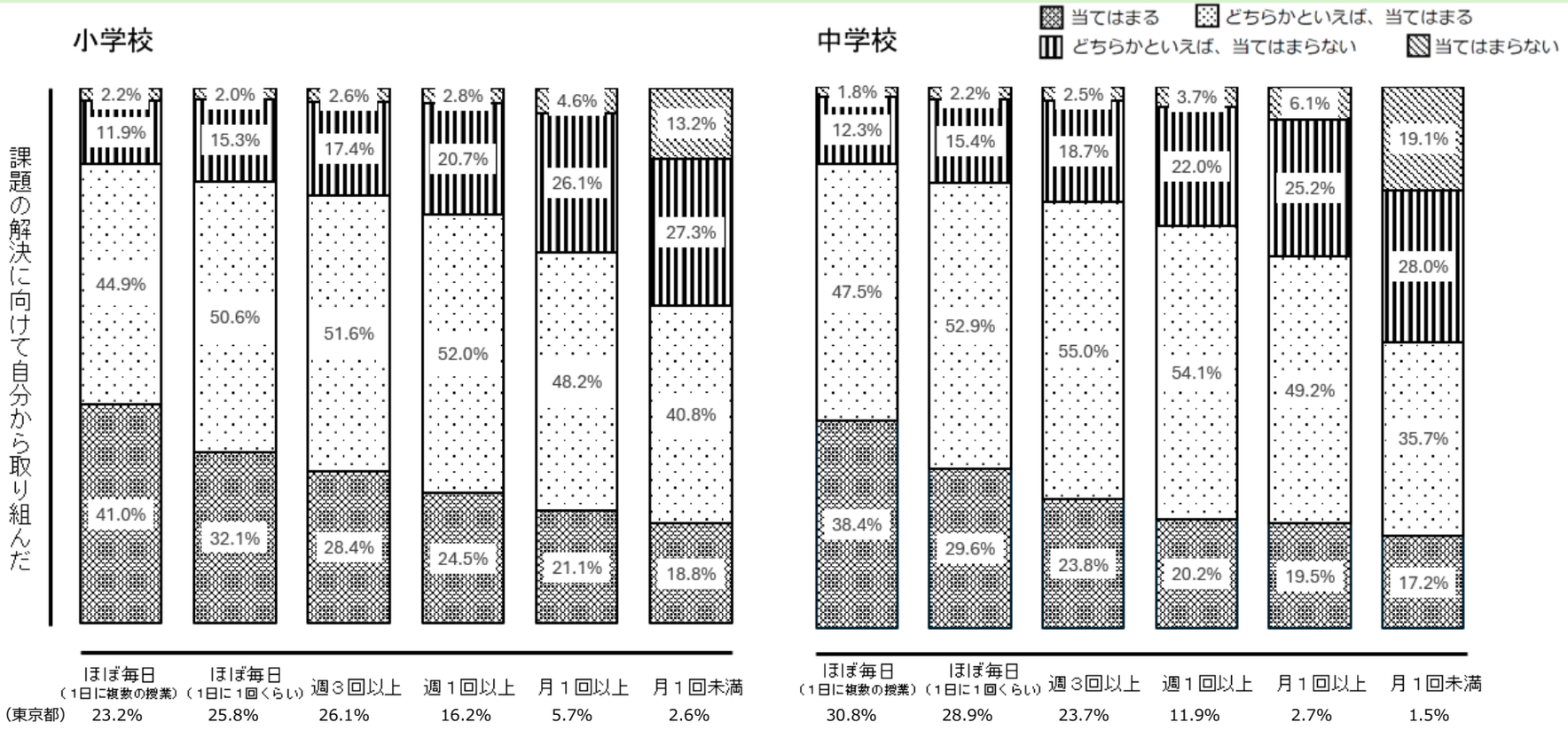
令和８年10月
東京都教育庁指導部

児童・生徒質問調査のクロス分析から見える学習の状況

※質問調査の回答項目間の関係を示したものであり、直接的な因果関係を示すものではありません。

課題の解決に向けて自分から取り組んだ　×　授業で、PC・タブレット等のICT機器を使用した

授業においてICT活用頻度が高い児童・生徒ほど、**「課題の解決に向けて自分から取り組んだ」と肯定的に回答した割合が高い**傾向が見られた。



学習の内容や目的に応じたICTの効果的な活用を通して、**課題解決に取り組む学習活動の充実**を図ることが重要である。

児童・生徒の学習状況から考えられる授業改善の方向性

区市町村教育委員会及び各学校においては、学習指導要領の趣旨を踏まえ、**児童・生徒一人一人が見通しをもち、自らの学習を調整し、課題解決に主体的に取り組む**ことができるよう授業改善を図ることが重要である。

授業改善を進める際の具体的な手掛かりとして、**「デジタルを活用したこれからの学び」研究開発委員会が作成した指導資料**を活用していただきたい。

「デジタルを活用したこれからの学び」
研究開発委員会の指導資料
（小・中学校の全教科）